

先週は、
ニコデモという人のお話でした。

「人は、
新たに生まれなければ、
神の国を見ることはできない」

そう語られたイエス様に対して、
こう答えました。

「年をとった者が
どうして生まれることができますか。
もう一度母親のお腹に入って
生まれ直すなんてことが
できるでしょうか」

と、ニコデモは返しました。

それはその通りです。

人間がもう一度
母親のお腹に入り直して
生まれることはできません。

でも、
イエス様の言われることは、
そういったことでは
ありませんでした。

「水と霊とによって生まれなければ、
神の国に入ることはできない」

つまり、
水と霊とによる洗礼を受けると、
人は新たに生まれたものとして、
そして神の子として
生きることができるようになる、
と教えられたのでした。

.....

さて、
今月からしばらくは、
私たちが信頼して歩むイエス様が
どのような力と権威を
持ったお方であるのか、
学んでいきたいと思います。

新約聖書には、
イエス様のなされたことや、
話された教えが
たくさん記されています。

今日は
先週の出来事よりも少し前、
イエス様が神様の教えを伝える
活動を始められた
最初の頃のお話です。

……

イエス様は
洗礼者ヨハネによって洗礼を受け、
悪魔から、
四十日間にわたる誘惑を
退けられました。

その後、
生まれ故郷であるナザレを出て
ガリラヤの町カファルナウム
というところにやってきました。

聖書の書かれている部分によって
少し順番は変わりますが、
今日お話する『ルカによる福音書』では、
最初に弟子を取られる前、
まだイエス様が
一人で活動されていた頃のことだ
とされています。

イエス様は安息日、
神様によって定められた
お休みの日になると、
人々を集めて

聖書のお話、
神様の教えについて
話をされていました。

安息日に
神様の教えを聴くこと自体は
珍しいことではありませんでした。

でも、
人々が驚いたのは
その内容でした。

普通、
神様の教えを聴くときは

「神様はこうっておられる」

とか

「神様の教えである律法に
こう書いてある」

といった形で語ります。

※こう、の中身を、
入れ込んだ方が、
分かり易いかなあ？

つまり、
神様の教えを
間接的に伝えるようなものでした。

「神様が
こうしなさいと言われた」

「神様が
これをしてはいけないと言われた」

というのを集めたのが
律法であり、
当時ほとんどの教師が教える
やり方でした。

イエス様と

後々敵対することになる、
ファリサイ派と呼ばれる人たちも
このような立場でした。

しかし
イエス様は違いました。

その言葉には権威があった、
と聖書に書かれています。

今まで
たくさん学んできた皆さんは
知っているかと思いますが、
イエス様の教えは

「こうしなさい」

とイエス様が、
ご自分の言葉で命じられますね。

「こうである」

とイエス様自身の言葉で
断言されます。

**※これも、同じ事。
こう、の中身を明確にしたい。**

「神様がこう言ってたから」

ではなく、
イエス様ご自身が
新たなルールとなって
言葉を発せられるのです。

なぜでしょう？

なぜこのようなことが
できたのでしょうか。

それは、
イエス様が神の子だからですね。

神の子として、
イエス様は語られました。

だから、
その言葉には権威があったのです。

だから、
その教えに、
イエス様の言葉に、
聴いていた人々は
神の権威を感じて驚いたのです。

……

さて、
聴いていた人々の中に、
悪い霊に取りつかれた男がいました。

悪い霊が人の心に入り込み、
誘惑をし、
悪い思いを抱かせたり、
体調を害したりするのです。

※悪い、というのも、
より明確にしましょうか。
実例で。

悪霊に取りつかれた男は、
大声で叫びだしました。

「やめてくれ！

来ないでくれ！

俺たちを滅ぼしに来た
とでもいうのか！

ナザレのイエス、
お前の正体は知っているぞ！

神の聖者だな！」

そう言って

抵抗をしました。

それに対してイエス様は

「黙れ。

この人から出て行け」

と命じられました。

すると、
男に取りついていた悪い霊は
男の身体を放り出し、
何も危害を与えることなく
去っていきました。

人々は驚きました。

「この言葉はなんだ。

なんという言葉だろうか。

権威と力を持って
汚れた霊に命じると、
出て行くとは」

人々は
悪霊を追い出すほどの力を持った
イエス様の言葉に驚き、
関心を持ったのです。

そして、
イエス様のうわさは
辺り一帯に広まりました。

……

イエス様は
皆に教えておられた会堂を出て、
シモンという人の家に入られました。

そこでは
シモンのしゅうとめ、

つまり
シモンの奥さんのお母さんが
高い熱を出して
苦しんでいました。

そこで、人々は
イエス様に
なんとかしてもらえよう
頼みました。

イエス様は
枕元に立ちました。

そしてなんと、
今度は
熱を叱りつけたのです。

「熱よ、
だめじゃないか！」

今すぐに、
出ていきなさい！」

すると熱は去り、
彼女は元気になって、
すぐに起き上がって
皆をもてなしたのです。

このうわさを聞いたのか、
人々は
いろいろな病気で苦しんでいる人を
イエス様のところに連れて来て、
治してもらおうとしました。

イエス様は
その一人ひとりに手を置き、
全員をいやされました。

イエス様が手を置き祈り、
悪い霊に出ていくよう命じると、
悪霊もわめきたて、

「お前は神の子だ！」

と言いながら
人々から出ていきました。

悪霊は
イエス様が神の子であると
知っていました。

しかもご親切なことに、
悪霊が
イエス様が神の子であると
証してくれているのです。

しかしイエス様は
悪霊に口止めをしました。

イエス様が
神の子であるということを
理解できる人は
まだ誰もいませんでした。

十字架にかけられた後の
復活によって、
人々は
ようやくイエス様が
神の子であったと
知ることになるのです。

なのでイエス様は
悪霊に口止めをしました。

こうしてイエス様は、
多くの人々を
いやされたのでした。

その方法は、
言葉です。

神の子であるイエス様が
権威を持って命じられた言葉によって、
悪霊は去り、
病がいやされたのでした。

イエス様は、
多くの人の病をいやされました。

悪霊によって
引き起こされていた病だったため、
悪霊を追い出すことで
いやされました。

どのように悪霊を
追い出したのでしょうか。

カづくで？

殴って？
追い出したのでしょうか。

違いますね。

イエス様は、

「言葉」

によって
悪霊を追い出されました。

ただの「言葉」では
ありませんでしたね。

「力と権威を持った言葉」によって
悪霊を追い出されました。

.....

みんなの発する「言葉」には
力があります。

ずっと
嫌な言葉ばかり言っていたら
本当に
そのような気分になってしまいます。

「つまらない」

とばかり言っていると、
本当に楽しくなくなってきました。

「できない」

とばかり言い続けていたら
頑張ればできるようなことまで
自信がなくなって
挑戦できなくなってきました。

嫌なことを
人に言われ続けると、
本当に自分は
そうなのではないかと
どんどん自信が
なくなっていくかもしれません。

もちろん
前向きな言葉にも
大きな力があります。

褒められ、
励まされることで
人は勇気づけられます。

自信のない人も
自信を取り戻します。

言葉によって
自分自身への評価が高まります。

思い切って行動することで
今までの自分を
大きく超えていくこと
もできるでしょう。

.....

松岡修造

という人を知っていますか？

タレントや
スポーツコメンテーターとして
よくテレビで
見ることがあるかと思います。

過剰なほどの熱い言動で
おなじみの方ですね。

実はこの方、
昔は世界と戦う
日本トップレベルの
プロテニスプレイヤーでした。

錦織圭選手が登場するまで、
松岡修造さんは
世界ランクの日本人選手として、
歴代最高記録を持っていた人でした。

そんな松岡さん、
引退してからは
タレント活動と並行して
若手選手の指導に
力を入れているそうです。

修造チャレンジという、
18歳以下の
トップレベルのジュニア選手たちを
集めた合宿を毎年行っています。

合宿の内容は
体力と精神力のギリギリまで
チャレンジする、
厳しい特訓だということで
有名です。

合宿では

「負けて、
お前らは悔しくないのか！」

「そんな気持ちでプレーするなら
やめた方がいい！」

などといった
激しい言葉が飛びます。

一見
めちゃくちゃな指導をする
根性任せの人のように
受け取られがちです。

でも実は
無理なことは決して言わない、
しっかり計算された言葉がけを、
する方だそうです。

指導チームは
松岡さん一人だけではなく、
テニスの技術面の専門コーチや
体作りが専門のトレーナーなど
専門家の集まりです。

そして、
身体面だけでなく
メンタル専門の
トレーナーもついています。

選手一人一人の
身体能力やテニスの技術を見極め、
一見不可能に見えるけれども、
諦めずに必死で頑張れば
ギリギリ到達することのできるぐらいの
高い目標を設定します。

ただ闇雲に高いだけで
達成させるつもりのない
形だけの目標は作りません。

緻密に計算された
しっかりと頑張ればできること
に対してしか、

「諦めるな！」

と言わないのです。

そして掛ける言葉は、
一人一人の性格や生い立ちなど、
様々な背景を考慮に入れて、
どのような方向性で
どのような言葉を掛けるのが、
事前に
メンタルトレーナーとの相談のもとで
決められるそうです。

目標が高くて
一見不可能に思えるだけで、
実際にできることに対してしか

「できる！」

「諦めるな！」

とは決して言わないのです。

諦めずに必死に頑張って
その目標に達したとき、
今まで自分が限界だと
思っていた世界を越えていきます。

その結果、
技術的にはもちろん、
精神的に
とても大きな自信が
得られるのです。

この合宿は
心を鍛えること、
も大きな目的なのです。

もしこのジュニア選手たちが
全く同じ
高い目標を設定され、
特に言葉をかけられることなく
淡々と指導が進められていたら
どうだったでしょうか。

もし

「諦めるな！」

「絶対できる！」

ではなく

「できれば
達成できるといいね」

「このぐらいは
目指してみようか」

といった言葉だったら
どうでしょう。

「そんな高い目標、
今の自分にはどうせ無理だろう」

と
心のどこかで思いながら、
とりあえず
頑張るだけ頑張る……ということに
なってしまうかもしれません。

そんな思いで練習したところで、
必死で頑張って
ギリギリ越えられるぐらいの
目標ですから、
そこにたどり着くことはないでしょう。

専門家たちの見立てに裏打ちされた

「絶対できる！」

「だから諦めるな！」

という言葉があったからこそ
高い壁を
乗り越えることができたのです。

松岡さんのこの言動は
本人の生来のものだけではなく、
意識的に

このような言葉を使うように
振る舞っているそうです。

言葉が
人に与える影響を考え、
言葉を
有効に使い、
言葉に対して
とても真剣に
向き合っている人なのです。

.....

イエス様が使われたのも、
言葉でした。

悪霊に出ていくよう命じたことが、
その通りになりました。

その言葉は
どうでしょう。

権威と力のある
言葉でした。

人間には
限界があります。

松岡修造氏は
そのことを謙虚に
理解しているからこそ、
しっかりと考え、
準備し、
責任を持って言葉をかけます。

だから
その言葉には
力があります。

人間のできる範囲内での
出来る限りの知恵に基づいた根拠があり、
必ず出来ると
信じる心があるからです。

.....

それでは
イエス様の言葉はどうでしょうか。

何を
根拠にしているのでしょうか。

イエス様の言葉は
神の言葉です。

**神様を
根拠にした言葉**なのです。

私たち人間が
必死に絞り出した知恵よりも、
遥かに多くのこと、
すべてのことを
知っておられる神様です。

だから
イエス様の言葉には
力があるのです。

不可能なことのよう思えても、
イエス様が

「絶対できる！」

と言われることは、
必ずできるのです。

人間の優秀な専門家たちが
知恵を絞り出しても
想像もできないような方法を
計画して下さいます。

そして、

「必ず成功する！」

「諦めるな！」

と云ってくださるのです。

今日学びたいことは、
言葉の持つ力についてです。

あなたの言葉には
力があります。

良い方にも
悪い方にも
影響をあたえます。

無理だと思えばできないし、
大丈夫だと言えば
自信が行動力となり、
出来るようになります。

ただし
物理的に不可能なことなど
人間にはどうしても
無理な領域があります。

また、
出来る根拠も
見通しもないのにかけてる

「大丈夫だ！」

の言葉ほど
虚しいものはありません。

根拠のある言葉にこそ
力があるのです。

さて、
最強の根拠がありましたね。

そうです、
神様です。

イエス様の言葉には、
全能の神様がついておられるので、

いかなる時であっても
権威と力があります。

悩んだとき、
自信をなくしたとき、
本当に大丈夫なのか
不安になることがあるでしょう。

でも、
イエス様が

「必ずできる！」

と仰ってくださるので
大丈夫です。

イエス様を信じ、
イエス様の言葉を信じましょう。

具体的な事例……

.....

<暗唱聖句>

人々は
その教えに非常に驚いた。

その言葉には
権威があったからである。
ルカ4:32